

# アーバン・ハウジング・フォーラム

## 平成 30 年度第 3 回開催報告

平成 30 年度第 3 回アーバンハウジングフォーラムを下記の要領で開催しました。

### ～入浴、温泉に関する研究「Yu-navi project」について～

入浴は1日の疲れを取ったり、リラックスしたりするための良い習慣だと思います。特に、これから冬に向かってゆく季節、ますます入浴が重要になってくると思います。「Yu-navi project」は、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) の未来社会創造事業に採択された、東京都市大学 人間科学部 早坂 信哉教授と東海大学 海洋学部 斉藤雅樹教授による共同研究に株式会社博報堂他が協働として参画した合同プロジェクトです。入浴事故死は年々増加しており、年間 19,000 人 (交通事故の 4 倍) が亡くなっています。入浴事故死予防は喫緊の課題であり、適切で楽しく健康作りができる正しい入浴法が重要です。人々の入浴をより安全かつ快適へ向かわせるため、IoT・テクノロジーを活用した、ナビゲーションシステム構築をめざす、産官学連携によるプロジェクトです。今回、このプロジェクトの概要とこれまでの研究結果を発表していただきました。

#### 記

テーマ：入浴、温泉に関する研究「Yu-navi project」について

講師：東京都市大学 人間科学部 教授 早坂 信哉 様

日時：2018年12月4日 (火) 15:00～17:00

場所：協会会議室 (参加者：14名)



ご講演は

自発・自律型エビデンスに基づく Bathing Navigation の実現をめざし、そのために以下 1～3 の項目について POC を達成し、適切な入浴に誘導し人々の健康が増進され、かつ不適切な入浴を排除し入浴事故死者が激減した社会を 2030 年に実現する、としています。

- 1 入浴者自身による「自発型エビデンス (ゆるやかなエビデンス)」の収集・解析システム
- 2 ウェアラブル端末による健康状態・入浴内容データ「自律型エビデンス」収集システム
- 3 ウェアラブル端末による「Bathing Navigation」

本研究の成果は、「入浴大国である日本が、このシステムの開発国として最もふさわしく、日本の入浴文化に憧れ、追随しつつあるアジアを始め、世界各国に普及させ、多くの人々の命を守り、健康を増進させる国際的な貢献をも可能にする。」ことであるとしています。

講演の後、活発な質疑応答が行われ、有意義な時間を戴きました。

